

第1回国際芥川龍之介学会プログラム
International Society for Akutagawa [Ryunosuke] Studies

2006年9月8日〔金〕—9日〔土〕

会場：8日 延世大学(ソウル特別市 西大門市 新村洞 134番地)

9日 仁川大学(仁川広域市 南区 道禾洞 177番地)

大会総合進行役

河 泰厚(慶一大学副教授)

神田由美子(東洋学園大学教授)

○ 9月8日(金)

延世大学(ソウル市)

9:30 ~ 受付

10:20 ~ ◇ 開会の辞
◇ 会場校挨拶

河 泰厚(慶一大学副教授)

徐 正敏(延世大学教授)

10:20 ~ ◇ 「国際作家芥川龍之介—学会設立に向けて」

宮坂 覺(フェリス女学院大学教授)

【研究発表Ⅰ】

11:00 ~ ◇ 研究発表1 「芥川龍之介の「開化の殺人」と「開化の良人」に現れた西欧文明」
—「愛」と「結婚」をめぐる— 金 孝順(高麗大学教授)

司会：奥野 久美子(別府大学専任講師)

◇ 研究発表2 「秋山図」論

田村 修一(国立舞鶴工業高等専門学校)

司会：尹 一(釜山大学常勤講師)

12:30 ~

(昼食)

【研究発表Ⅱ】

13:30 ~ ◇ 研究発表3 「河童」における国民国家の想像 郭 勇(寧波大学外国語学院助教授)

司会：篤田 明子(田園調布学園大学非常勤講師)

◇ 研究発表4 「芥川龍之介の女性観考察」

宋 鉉順(大学教授)

司会：曹 慶淑(慶北大学講師)

休憩(20分)

【研究発表Ⅲ】

15:20 ~ ◇ 研究発表5 「芥川龍之介の1920年代—映画と映像と「話」

安藤 公美(フェリス女学院大学講師)

司会：金 貞淑(中央大学研究員)

◇ 研究発表6 「芥川龍之介の文学における「善」と「悪」

楊 洪鑑(寧波大学外国語学院副院長)

司会：申 基東(江原大学副教授)

◇ 研究発表7 「芥川龍之介における火のイメージとその変容」

金 鸞姫(済州大学教授)

司会：足立 直子(同志社女子大学非常勤講師)

17:40 ~ ◇ 総会

18:30 ~ ◇ 懇親会

○ 9月9日(土) —韓国日本基督教文学会共同開催

仁川大学(仁川市)

10:00 ~ 受付

10:20 ~ ◇ 開会の辞
◇ 会場校挨拶

林 鍾碩(忠南大学教授)
柳 庸圭(仁川大学学長)

【研究発表Ⅳ】

10:40 ~ ◇ 研究発表8 「『深い河』論—心理分析の試み」
司会: 朴 勝乎(白石文化大学副教授)

金 恩暎(忠南大学講師)
*本発表のみ遠藤周作が対象

◇ 研究発表9 「芥川龍之介の MARIA 観」
司会: 鄭 旭盛(南ソウル大学副教授)

林 薫植(慶南大学教授)

12:10 ~

(昼 食)

*理事会

【研究発表Ⅴ】

13:10 ~ ◇ 研究発表10 「想像された日本のアイデンティティー—作り替える力」

崔 貞娥(光云大学副教授)

司会: 任 苔均(聖潔大学助教授)

14:00 ~ シンポジウム 芥川龍之介『南京の基督』を〈読む〉

司会
パネリスト

関口安義(都留文科大学名誉教授)
秦 剛(北京日本学研究中心副教授)
曹 紗玉(仁川大学教授)

16:30 ◇ 閉会の挨拶

国際芥川龍之介学会
韓国日本基督教文学会

神田 由美子
曹 紗玉